



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和3年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
上場地区赤坂ダム耐震性能照査業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
土地改良技術事務所

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	上場地区赤坂ダム耐震性能照査業務

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	*** S単-1号 *** 資料の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	588,300		歩A・単A
S63003	*** S単-2号 *** 初期応力解析 設計労務(直接人件費内業)		式	2,955,280		歩A・単A
S63003	*** S単-3号 *** 解析モデルの妥当性確認 設計労務(直接人件費内業)		式	1,515,960		歩A・単A
S63003	*** S単-4号 *** 地震時応答解析 設計労務(直接人件費内業)		式	3,389,460		歩A・単A
S63003	*** S単-5号 *** すべり破壊の検証 設計労務(直接人件費内業)		式	2,365,880		歩A・単A
S63003	*** S単-6号 *** すべり破壊等の評価 設計労務(直接人件費内業)		式	650,440		歩A・単A
S63003	*** S単-7号 *** 耐震性能照査結果の整理 設計労務(直接人件費内業)		式	886,200		歩A・単A
S63003	*** S単-8号 *** 安全性評価委員会(仮称)資料作成等 設計労務(直接人件費内業)		式	614,380		歩A・単A
S63003	*** S単-9号 *** 設計作業照査 設計労務(直接人件費内業)		式	149,240		歩A・単A
S63003	*** S単-10号 *** 点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	607,100		歩A・単A
S63007	*** S単-11号 *** 現地調査 設計労務(直接人件費外業)		式	193,960		歩A・単A
S63007	*** S単-12号 *** 現地調査(基準日額) 設計労務(直接人件費外業)		式	74,600		歩A・単A
S63010	*** S単-13号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) ダム(本体設計又は施工計画の一方),着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	108,600		歩A・単A
S63010	*** S単-14号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) ダム(本体設計又は施工計画の一方),中間,1.00人,0.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	98,000		歩A・単A
S63010	*** S単-15号 *** 技術検討幹事会出席 打合せ(設計業務基準日額) ダム(本体設計又は施工計画の一方),着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,1日,0.5日		回	162,900		歩A・単A
S63010	*** S単-16号 *** 技術検討委員会出席 打合せ(設計業務基準日額) ダム(本体設計又は施工計画の一方),着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	108,600		歩A・単A
S63011	*** S単-17号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) ダム(本体設計又は施工計画の一方),着手前・最終,通勤により打合せ,...,一般交通機関,0日,...,L<100km(100km未満)		回	6,908		歩A・単A
S63011	*** S単-18号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) ダム(本体設計又は施工計画の一方),中間,通勤により打合せ,...,一般交通機関,0日,...,L<100km(100km未満)		回	6,908		歩A・単A
S63011	*** S単-19号 *** 技術検討幹事会出席					

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	上場地区赤坂ダム耐震性能照査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単-1号 ***						
S63003	資料の検討		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.30人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.60人				
	5)技師Bの人数	3.30人				
	6)技師Cの人数	4.60人				
	7)技術員の人数	3.30人				
R04003	主任技師	1.300	人	57,400	74,620	
R04004	技師(A)	2.600	人	51,200	133,120	
R04005	技師(B)	3.300	人	40,600	133,980	
R04006	技師(C)	4.600	人	32,800	150,880	
R04007	技術員	3.300	人	29,000	95,700	
	合 計				588,300	算出数量 1.000 式
	単 価		式		588,300	
*** S単-2号 ***						
S63003	初期応力解析		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	6.20人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	12.50人				
	5)技師Bの人数	16.60人				
	6)技師Cの人数	20.80人				
	7)技術員の人数	20.80人				
R04003	主任技師	6.200	人	57,400	355,880	
R04004	技師(A)	12.500	人	51,200	640,000	
R04005	技師(B)	16.600	人	40,600	673,960	
R04006	技師(C)	20.800	人	32,800	682,240	
R04007	技術員	20.800	人	29,000	603,200	
	合 計				2,955,280	算出数量 1.000 式
	単 価		式		2,955,280	
*** S単-3号 ***						
S63003	解析モデルの妥当性確認		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	4.20人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	8.30人				
	5)技師Bの人数	8.30人				
	6)技師Cの人数	8.30人				
	7)技術員の人数	8.30人				
R04003	主任技師	4.200	人	57,400	241,080	
R04004	技師(A)	8.300	人	51,200	424,960	
R04005	技師(B)	8.300	人	40,600	336,980	
R04006	技師(C)	8.300	人	32,800	272,240	
R04007	技術員	8.300	人	29,000	240,700	
	合 計				1,515,960	算出数量 1.000 式

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	上場地区赤坂ダム耐震性能照査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		式		1,515,960	
	*** S単- 4号 ***					
S63003	地震時応答解析		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	4.20人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	12.50人				
	5)技師Bの人数	20.80人				
	6)技師Cの人数	25.00人				
	7)技術員の人数	29.10人				
R04003	主任技師	4.200	人	57,400	241,080	
R04004	技師 (A)	12.500	人	51,200	640,000	
R04005	技師 (B)	20.800	人	40,600	844,480	
R04006	技師 (C)	25.000	人	32,800	820,000	
R04007	技術員	29.100	人	29,000	843,900	
	合 計				3,389,460	算出数量 1,000 式
	単 価		式		3,389,460	
	*** S単- 5号 ***					
S63003	すべり破壊の検証		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	4.20人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	8.30人				
	5)技師Bの人数	16.60人				
	6)技師Cの人数	16.60人				
	7)技術員の人数	16.60人				
R04003	主任技師	4.200	人	57,400	241,080	
R04004	技師 (A)	8.300	人	51,200	424,960	
R04005	技師 (B)	16.600	人	40,600	673,960	
R04006	技師 (C)	16.600	人	32,800	544,480	
R04007	技術員	16.600	人	29,000	481,400	
	合 計				2,365,880	算出数量 1,000 式
	単 価		式		2,365,880	
	*** S単- 6号 ***					
S63003	すべり破壊等の評価		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.20人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.20人				
	5)技師Bの人数	6.20人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	3.200	人	57,400	183,680	
R04004	技師 (A)	4.200	人	51,200	215,040	
R04005	技師 (B)	6.200	人	40,600	251,720	
	合 計				650,440	算出数量 1,000 式

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	上場地区赤坂ダム耐震性能照査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		式		650,440	
	*** S単- 7号 ***					
S63003	耐震性能照査結果の整理 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	4.20人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.20人				
	5)技師Bの人数	4.20人				
	6)技師Cの人数	4.20人				
	7)技術員の数	4.20人				
R04003	主任技師	4.200	人	57,400	241,080	
R04004	技師 (A)	4.200	人	51,200	215,040	
R04005	技師 (B)	4.200	人	40,600	170,520	
R04006	技師 (C)	4.200	人	32,800	137,760	
R04007	技術員	4.200	人	29,000	121,800	
	合 計				886,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		886,200	
	*** S単- 8号 ***					
S63003	安全性評価委員会(仮称)資料作成等 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.90人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.90人				
	5)技師Bの人数	2.60人				
	6)技師Cの人数	2.60人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	3.900	人	57,400	223,860	
R04004	技師 (A)	3.900	人	51,200	199,680	
R04005	技師 (B)	2.600	人	40,600	105,560	
R04006	技師 (C)	2.600	人	32,800	85,280	
	合 計				614,380	算出数量 1.000 式
	単 価		式		614,380	
	*** S単- 9号 ***					
S63003	設計作業照査 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.60人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	2.600	人	57,400	149,240	
	合 計				149,240	算出数量 1.000 式
	単 価		式		149,240	
	*** S単- 10号 ***					

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業		
業務名	上場地区赤坂ダム耐震性能照査業務		

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.30人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.60人				
	5)技師Bの人数	3.90人				
	6)技師Cの人数	3.90人				
	7)技術員の数	3.90人				
R04003	主任技師	1.300	人	57,400	74,620	
R04004	技師 (A)	2.600	人	51,200	133,120	
R04005	技師 (B)	3.900	人	40,600	158,340	
R04006	技師 (C)	3.900	人	32,800	127,920	
R04007	技術員	3.900	人	29,000	113,100	
	合計				607,100	算出数量 1.000 式
	単 価		式		607,100	
	*** S単- 11号 ***					
S63007	現地調査 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.30人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.30人				
	5)技師Bの人数	1.30人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	1.300	人	57,400	74,620	
R04004	技師 (A) 外業	1.300	人	51,200	66,560	
R04005	技師 (B) 外業	1.300	人	40,600	52,780	
	合計				193,960	算出数量 1.000 式
	単 価		式		193,960	
	*** S単- 12号 ***					
S63007	現地調査 (基準日額) 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	0.500	人	57,400	28,700	
R04004	技師 (A) 外業	0.500	人	51,200	25,600	
R04005	技師 (B) 外業	0.500	人	40,600	20,300	
	合計				74,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		74,600	
	*** S単- 13号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額) 打合せ (設計業務基準日額) ダム(本体設計又は施工計画の一方)着手前・最終,1.00人,1.00人		回		1.000 回	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	上場地区赤坂ダム耐震性能照査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	0.00人,0.00人,0.5日,0.5日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ	ダム(本体設計又は施工計画の一方) 着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	1.00人 1.00人				
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	0.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.500日 0.500日				
R04003	主任技師	1.000	人	57,400	57,400	
R04004	技師(A)	1.000	人	51,200	51,200	
	合計				108,600	算出数量 1.000回
	単価		回		108,600	
	*** S単-14号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) ダム(本体設計又は施工計画の一方),中間,1.00人,0.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.5日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ	ダム(本体設計又は施工計画の一方) 中間		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	1.00人 0.00人		深夜時間:0.0		
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	1.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.500日 0.500日				
R04003	主任技師	1.000	人	57,400	57,400	
R04005	技師(B)	1.000	人	40,600	40,600	
	合計				98,000	算出数量 1.000回
	単価		回		98,000	
	*** S単-15号 ***					
S63010	技術検討幹事会出席		回		1.000回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) ダム(本体設計又は施工計画の一方),着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,1日,0.5日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ	ダム(本体設計又は施工計画の一方) 着手前・最終		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	1.00人 1.00人		深夜時間:0.0		
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	0.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	1.000日 0.500日				
R04003	主任技師	1.500	人	57,400	86,100	
R04004	技師(A)	1.500	人	51,200	76,800	
	合計				162,900	算出数量 1.000回
	単価		回		162,900	
	*** S単-16号 ***					
S63010	技術検討委員会出席		回		1.000回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) ダム(本体設計又は施工計画の一方),着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ	ダム(本体設計又は施工計画の一方) 着手前・最終		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	1.00人 1.00人		深夜時間:0.0		
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	0.00人 0.00人				

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	上場地区赤坂ダム耐震性能照査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.500日				
R04003	主任技師	1.000	人	57,400	57,400	
R04004	技師 (A)	1.000	人	51,200	51,200	
	合計				108,600	算出数量 1.000 回
	単価		回		108,600	
	*** S単- 17号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) ダム(本体設計又は施工計画の一方),着手前・最終,通勤により打合せ,,一般交通機関,0日,,L<100km (100km未満)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	ダム(本体設計又は施工計画の一方)		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金 (税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金 (税別)	3,454円				
	16)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	L<100km (100km未満)				
P54307	バス料金 消費税抜き	2.000	人	3,454	6,908	
	合計				6,908	算出数量 1.000 回
	単価		回		6,908	
	*** S単- 18号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) ダム(本体設計又は施工計画の一方),中間,通勤により打合せ,,一般交通機関,0日,,L<100km (100km未満)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	ダム(本体設計又は施工計画の一方)		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	0人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金 (税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金 (税別)	3,454円				
	16)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	L<100km (100km未満)				
P54307	バス料金 消費税抜き	2.000	人	3,454	6,908	
	合計				6,908	算出数量 1.000 回
	単価		回		6,908	
	*** S単- 19号 ***					
S63011	技術検討幹事会出席		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) ダム(本体設計又は施工計画の一方),着手前・最終,滞在して打合せ			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	上場地区赤坂ダム耐震性能照査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	,乙地,なし,ライトバン,2日,1時間,L<100km(100km未満)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	ダム(本体設計又は施工計画の一方)				
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	1.00日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	滞在して打合せ				
	10)宿泊地	乙地				
	11)補正区分	なし				
	12)交通機関区分	ライトバン				
	13)高速道路往復料金(税別)	1,818円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	2日				
	19)時間区分	1時間				
	20)往復移動距離区分	L<100km(100km未満)				
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地)消費税抜き(7級相当)	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	1,818	1,818	
M28121	ライトバン[二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,320	2,640	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	5.200	L	130	676	
	合計				24,770	算出数量 1.000回
	単価		回		24,770	
	*** S単-20号 ***					
S63011	技術検討委員会出席		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) ダム(本体設計又は施工計画の一方),着手前・最終,通勤により打 合せ,,,一般交通機関,0日,,L<100km(100km未満)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	ダム(本体設計又は施工計画の一方)				
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	3,454円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	L<100km(100km未満)				
P54307	バス料金 消費税抜き	2.000	人	3,454	6,908	
	合計				6,908	算出数量 1.000回
	単価		回		6,908	
	*** S単-21号 ***					
S63017	旅費交通費(設計外業宿泊用)		式		1,000	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,ライトバン,0.50日,2日,1時間,なし,100km≤L(100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)宿泊地	乙地				
	2)交通機関区分	ライトバン				
	3)高速道路往復料金(税別)	1,818円				
	4)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	6)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	8)往復移動日数	0.50日				

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	上場地区赤坂ダム耐震性能照査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	9) ライトバン使用日数	2日				
	10) 時間区分	1時間				
	11) 補正区分	なし				
	12) 技師長外業日数	0.000日				
	13) 主任技師外業日数	1.300日				
	14) 技師A外業日数	1.300日				
	15) 技師B外業日数	1.300日				
	16) 技師C外業日数	0.000日				
	17) 技術員外業日数	0.000日				
	18) 往復移動距離区分	100km ≤ L (100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2.000	人	1,182	2,364	
P54203	設計用技師 (A) 日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師 (B) 日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地) 消費税抜き (7級相当)	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師 (A) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (6級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師 (B) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (4級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	1,818	1,818	
M28121	ライトバン[二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,320	2,640	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	5.200	L	130	676	
	合計				40,043	算出数量 1.000 式
	単価		式		40,043	
	*** S単- 22号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1. A-4, 500, 8cm, 0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2) 規格区分	A-4		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3) 枚数区分(枚)	500		深夜時間:0.0		
	4) 厚さ区分	8cm				
	5) CD-R枚数(枚)	0.000				
P43422	報告書焼付代 (コピー) A-4以下 500枚	1.000	部	6,750	6,750	
P43543	簡易加除式ファイル A 4縦型幅8cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	588	588	
P43602	CD-R CD-R (記録面色素フタロシアニン) 700MB	0.000	枚	42	0	
	合計				7,338	算出数量 1.000 式
	単価		式		7,338	

令和3年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
上場地区赤坂ダム耐震性能照査業務

特別仕様書

九州農政局 土地改良技術事務所

第1章 総 則

(適用範囲)

第 1-1 条 令和3年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業上場地区赤坂ダム耐震性能照査業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書（以下「共通仕様書」という）」によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

第 1-2 条 本業務は、国営土地改良事業「上場地区」（平成14年度完了）で造成された赤坂ダムについて、レベル2地震動に対する堤体等の耐震性能照査等を行うものである。

(場 所)

第 1-3 条 本業務において対象とする施設の場所は、佐賀県唐津市肥前町赤坂地内である。

(土地への立ち入り等)

第 1-4 条 作業実施のための土地の立ち入り等は、共通仕様書第 1-16 条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等を行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(一般事項)

第 1-5 条 (1) 本業務の対象となる赤坂ダムの概要は、別紙 1 「対象施設一覧表」に示すとおりである。

(2) 業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- 1) 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- 2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- 3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第 1-6 条 管理技術者は、共通仕様書第 1-6 条第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業農村工学、農業－農業土木
	農 業	農業農村工学、農業土木
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

(照査技術者)

第 1-7 条 照査技術者は、共通仕様書第 1-7 条第 2 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業農村工学、農業－農業土木
	農 業	農業農村工学、農業土木
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

2. 共通仕様書第 1-7 条第 4 項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。
 - 1) 業務計画作成時
 - 2) 耐震性能照査作業完了時点
 - 3) 幹事会開催前時点
 - 4) 委員会開催前時点
 - 5) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合
3. 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

(担当技術者)

第 1-8 条 担当技術者は、共通仕様書第 1-8 条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第 1-9 条 共通仕様書第 1-11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1-12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職および担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

第 1-10 条 受注者は、共通仕様書第 1-37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第 2 章 作業条件

(適用する図書)

第 2-1 条 本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書によるものとする。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	発行所	制定(改訂)年月
1	大規模地震に対するダム耐震性能照査指針 (案)・同解説	国土交通省河川局	平成 17 年 3 月
2	土地改良事業計画設計基準・設計「ダム」技術書	農林水産省農村振興局	平成 15 年 4 月

(作業条件)

第 2-2 条 本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1) 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
- (2) 現地調査に伴い施設内に立入る場合は、監督職員と打合せを行い施設管理者と日程調整を実施するものとする。
- (3) 作業上支障となる状態が発生した場合は、監督職員と協議する。

(参考図書)

第 2-3 条 本業務の参考にする図書は、共通仕様書第 2-1 条によるほか次表によるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	国営造成農業用ダム耐震性能照査 マニュアル	農林水産省 農村振興局	平成 24 年 3 月

(貸与資料)

第 2-4 条 貸与資料は、次のとおりである。

番号	参 考 資 料	数 量
1	上場農業水利事業 ダム技術誌 (赤坂ダム編)	1 式
2	平成 30 年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 上場地区赤坂ダム健全性検証業務報告書	1 式
3	その他業務実施上、必要な資料	1 式

また、上記以外に必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第 2-5 条 第 2-3 条、第 2-4 条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

1. 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
2. 参考図書は、作業時点の最新版を用いることとし、作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
3. 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

(関連業務)

第 2-6 条 本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに調整の図られた業務成果としなければならない。

業 務 名	業務実施期間 (予定)
令和 3 年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業九州農政局国営農業用ダム安全性評価委託事業 (仮称)	令和 3 年 6 月 ～令和 4 年 3 月

第 3 章 作業内容

(作業項目及び数量)

第 3-1 条 本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は、別紙 2「作業項目内訳表」((該当項目)に○印で示す)に示すものとする。

1) 作業項目表

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 準備作業	1 式	
2. 耐震性能照査作業	1 式	
3. 安全性評価委員会 (仮称) 資料作成等	1 式	
4. 設計作業照査	1 式	
5. 点検とりまとめ	1 式	

(作業の留意点)

第 3-2 条 業務の実施にあたって、特に留意する点は次のとおりとする。

1. 現地調査において著しく機能が低下している施設を発見した場合は、遅滞なく監督職員へ報告するものとする。

2. 詳細な現地調査の必要性については、監督職員と協議するものとする。
3. 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
4. 第 2-3 条、第 2-4 条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
5. 安全性評価委員会（仮称）の資料作成等については、次のとおり想定しており、委員会の開催に先立ち、別途幹事会の開催を予定している。

1) 委員会及び幹事会開催予定時期・場所

区分	回数	開催予定時期	開催予定場所	備考
幹事会	1 回	令和 3 年 9 月	唐津市	
委員会	1 回	令和 3 年 10 月	熊本市	

2) 資料作成予定部数・仕様

区分	予定部数	資料作成仕様
幹事会	20 部	仕様等については監督職員と協議するものとする。
委員会	25 部	

第 4 章 打合せ

(打合せ)

第 4-1 条 共通仕様書第 1-10 条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、すべての打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

第 2 回 中間打合せ（耐震性能照査作業完了時）

第 3 回 中間打合せ（幹事会開催前）

第 4 回 中間打合せ（委員会開催前）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度、内容について監督職員と相互に確認するものとする。

第 5 章 成果物

(成果物)

第 5-1 条 成果物を共通仕様書第 1-17 条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1. 成果物の電子媒体（CD-R 若しくは DVD-R） 正副 2 部
2. 成果物の出力 1 部（子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

(成果物の提出先)

第 5-2 条 成果物の提出先は、次のとおりとする。

熊本市東区東町 4 丁目 5 - 7

九州農政局土地改良技術事務所

第 6 章 業務管理

(情報共有システムについて)

第 6-1 条 情報共有システムの業務について

- (1) 本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。
- (2) 情報共有システムは、別添「業務の情報共有システム活用要領（案）」によるものとする。

- (3) 受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うために聞き取り調査等を求められた場合、これに協力しなければならない。

第7章 契約変更

(契約変更)

第7-1条 業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第1-5条に示す別紙1の「対象施設」に変更が生じた場合。
- (2) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (3) 第3-2条に示す「安全性評価委員会（仮称）資料作成等」に変更が生じた場合。
- (4) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (5) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (6) 履行期間の変更が生じた場合。
- (7) 耐震性能照査作業において次の評価となった場合。
 - 1) 液状化による著しい強度低下の可能性がある場合。
 - 2) すべり安定計算の結果、安全率が1.0以上となる場合。
 - 3) すべり破壊解析の結果、すべり土塊の変位量が許容値以上となる場合。
- (8) 関連業務において運営する安全性評価委員会（仮称）の審議等により、追加作業が生じた場合。
- (9) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (10) その他

第8章 定めなき事項

(定めなき事項)

第8-1条 この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙 1

【対象施設一覧表】

項 目	単 位	施設概要（規模）		備 考
		赤坂ダム		
1. 設計の基本条件				
(1) 総貯水量	千 m ³	1,460		
(2) 有効貯水量	千 m ³	1,450		
(3) 計画堆砂量	千 m ³	10		
(4) 常時満水位	m	FWL 194.00		
(5) 最低水位	m	LWL 175.00		
(6) 利用水深	m	19.00		
2. 諸元		本堤	副堤	
(1) 型 式	—	中心遮水ゾーン型ロック フィルダム	均一型フィルダム	
(2) 堤 高	m	30.5	7.0	
(3) 堤頂長	m	256.4	152.0	
(4) 堤体積	千 m ³	274	12	
(5) 流域面積	km ²	0.38		直接 0.38km ²
(6) 設計洪水量	m ³ /s	19.0		
(7) 洪水吐型式	—	正面越流型		

別紙 2

【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	作業実施欄
1. 準備作業 1-1. 現地調査	検討に必要な現地調査を行う。	○
1-2. 資料の検討	既存資料を把握し、作業計画を確立する。	○
2. 耐震性能照査作業		
2-1. 初期応力解析	堤体及び副堤について、自重解析と湛水解析を実施し、地震発生前の堤体及び基礎地盤内での応力状況を評価する。	○
2-2. 解析モデルの妥当性確認	堤体及び副堤について、平成 30 年度に策定した基本パラメータによる再現解析や固有値解析結果等により、堤体や基礎地盤パラメータの妥当性について検討を行う。	○
2-3. 地震時応答解析	堤体及び副堤について、「2-2. 解析モデルの妥当性確認」において決定した解析パラメータを用い、地震時の堤体の挙動を算定するため、等価線形化法により地震時応答解析を実施する。(解析に用いる入力地震動は平成 30 年度に設定済み。)	○
2-4. すべり破壊の検証	堤体及び副堤について、初期応力解析及び地震時応答解析の結果を考慮し、すべりに対する安全率を求め評価する。 なお、すべりに対する安定解析は、二つの方法(最大等価瞬間震度と分割法を用いる方法、初期応力解析と動的解析から求まる応力を用いる方法)を用いて実施する。	○
2-5. すべり破壊等の評価	堤体及び副堤について、すべり破壊解析による変位量を算定し、越流破壊及び浸透破壊に対する安全性を評価する。	○
2-6. 耐震性能照査結果の整理	上記作業項目の整理内容を踏まえて、耐震性能照査作業に係わる検討結果を整理する。	○
3. 安全性評価委員会(仮称)資料作成等	上記での検討整理内容及び平成 30 年度の安全性評価委員会の指摘事項について、別途開催される国営農業用ダム安全性評価委員会(仮称)及び幹事会へ諮るための資料作成を行う。 また、委員会等で示された課題を整理し、課題に対する対応方針を検討する。	○
4. 設計作業照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	○
5. 点検とりまとめ	成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。	○